

市民と議会のわがまちトーク(意見交換会)

舞鶴市議会（福祉健康委員会）

《日時》 令和7年4月27日(日) 午前10時～11時30分頃

《場所》 市役所本館4階(舞鶴市字北吸1044)

《テーマ》

高齢者や障害者を支える人への支援
～誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるために～

《市民と議会のわがまちトークとは》

市民の皆さんの多様な意見を舞鶴市議会の福祉健康委員会がお聞きし、市政への反映につなげるため、意見交換会を開催します。

今回は、「高齢者や障害者を支える人への支援～誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるために～」をテーマとし、5つのグループに分かれて意見交換を行います。

《意見交換会における意見等の反映》

参加者

福祉事業所等の職員の方	介護を経験されている（経験された）方
障害のある方と生活されている方	介護者の会に入っておられる方
福祉施設等の家族の会に入っておられる方	公募市民



意見交換

※1グループ当たり
議員1人と市民の方5人

福祉健康委員会



田畑 篤子
委員長（統括）



小杉 悦子
副委員長



杉島 久敏
委員



廣瀬 昇
委員



眞下 弘明
委員



南 正弘
委員

委員長を除く各委員がファシリテーター（進行役）となって意見交換を行います。

[意見集約・情報共有・課題整理等]



➤議会の活動に生かす
➤政策提言につなげる

《意見交換会：テーマ設定の理由及び目的》

高齢者や障害のある人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、それぞれに適合した福祉サービスの提供と、家族をはじめとする支援者の協力が欠かせません。

しかしながら、近年、医学の進歩や超高齢社会を背景に、自宅での医療的ケアや介護による家族の負担の増加、障害のある人の高齢化に伴う複合的な支援など、支援者の負担はますます増加しているという現状があります。

心や体に不調のある人の「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」など、ケアに必要な家族や近親者、友人、知人などを無償でケアする人のことを、「ケアラー」と言いますが※、厚生労働省や経済産業省の調査においても、ヤングケアラーやビジネスケアラー（仕事をしながら家族等の介護に従事する者）など、「支える人」の抱える負担は、他の社会問題にも結びつく、大きな問題として取り上げられています。（※一般社団法人日本ケアラー連盟の定義より）

わがまちトークの実施により、高齢者や障害のある人を支える人（支援者・ケアラー）の負担を少しでも軽減するための方策について、各関係者の考えや意見を共有し合い、市の施策の効果や現状の課題の把握、課題に対する解決策等について意見交換し、より効果的な市への政策提言につなげることを目的としております。

《皆様からいただきたい御意見等》

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、「高齢者や障害のある人を支える人＝支援者・ケアラー」の存在は欠かせません。支援者の負担を軽減するための方策について、御参加いただく皆様の経験・知識をもとに御意見をお聞かせください。

御参加いただく皆様には、舞鶴市の高齢者や障害者、その家族への支援内容などに関する資料をあらかじめ送付し、共通の認識の下で、意見交換を行っていただきたいと思います。

意見交換は、各グループに1人ずつ入る議員（福祉健康委員会委員）が進行役となり、模造紙と付箋（ふせん）を使って意見を整理しながら共有し、まとめていく予定です。各グループの発表は議員が行います。

去年の様子

